

市町村名	糸満市						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	観光地危機管理対策事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ 観光客の受入体制の整備	
担当部課名	総務部	総務課	事業実施 年度	平成 28	~ 平成 30	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	観光施設が立地する本市において、観光客の増加に伴う事故や不測の事態へ対処できる体制の確立のため、防災拠点及び指定避難所の非常食・毛布・炊き出し資機材等の整備を行う。 整備施設:糸満小学校、真壁小学校、農村改善センター、糸満中学校、兼城中学校、潮平中学校、喜屋武小学校、兼城小学校、高嶺中学校の防災倉庫整備。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・ 執行額 【単位:千円】		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	合計	
	A. 予算現額	50,269	14,320	15,693		80,282	
	B. 執行済額	49,662	14,314	15,245		79,221	
	うち 交付金充当額	39,730	11,451	12,196		63,377	
	執行率(%) (B/A)	98.8%	100.0%	97.1%		98.7%	
執行状況の説明	ほぼ当初予算のとおりに執行できた。入札により執行額が抑えられたことで、適正に執行できたと考える。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
	指定避難所へ防災資機材の整備	目標	3	3	3		
		実績	3	3	3		
		目標					
		実績					
	目標						
	実績						
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
	指定避難所へ防災資機材の整備完了(3箇所)	目標	3	3	3		
		実績	3	3	3		
	備蓄食料の備蓄率	目標			75%		
		実績			75%		
	目標						
	実績						

事業完了後の取り組み						
成果目標(指標)	達成/進捗状況					
		H30年度	R1年度	R2年度 目標/発現年度	R3年度	R4年度
<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果						
整備した資機材等を活用した防災訓練(1回以上/年)を実施することにより、本事業のあり方について検証する。	目標		1	1	1	
	実績		1	0	1	
	目標					
	実績					
事業完了後の成果目標 状況説明	【H30年度】 ・地域住民を対象に糸満小学校で避難所運営訓練(津波避難)を実施し防災資機材や備蓄食糧等の活用方法を確認した。					
	【R元年度】 ・地域住民を対象に避難所運営訓練(土砂災害避難・自主防災組織による炊き出し訓練)を実施し防災資機材や備蓄食糧等の活用方法を確認した。 不発弾処理に伴う避難所開設(避難所開設に必要な資機材等を準備→メガホン・コードリール)					
	【R2年度】 ・地元住民を対象に総合防災訓練を実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により訓練が中止となったことから目標を達成することができなかった。					
	【R3年度】 ・新型コロナウイルス感染症の影響により規模を縮小し、糸満市農村環境改善センターにおいて訓練を実施した。 訓練において整備した資機材等の活用方法を確認した。					
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)			
【H30年度】 ・本事業に関しては、災害が発生しない限り検証が困難なため、防災訓練等を実施し、適切な被災者支援ができるよう検証していく。			【H30年度】 ・災害時、整備した資機材を円滑に活用できるよう、適切な資機材管理や定期的な訓練を検討する。			
【R1年度】 ・本事業に関しては、災害が発生しない限り検証が困難なため、防災訓練等を実施し、適切な被災者支援ができるよう検証していく。			【R1年度】 ・災害時、整備した資機材を円滑に活用できるよう、適切な資機材管理や定期的な訓練を検討する。			
【R2年度】 ・令和2年度はコロナ禍で防災訓練等を実施することが出来なかった。令和3年度においては、防災訓練を実施し適切な被災者支援ができるよう検証していく			【R2年度】 ・今後も感染症が発生することがあることから、感染症の蔓延期においても適切な被災者支援を行えるよう適切な資機材管理・定期的な訓練を検討する。			
【R3年度】 ・糸満市農村環境改善センターを活用し防災訓練を実施することにより整備した資機材等の活用方法が確認できた。			【R3年度】 ・今後も感染症が発生することがあることから、感染症の蔓延期においても適切な被災者支援を行えるよう適切な資機材管理・定期的な訓練を検討する。			
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)						
【H30年度】 ・災害時に円滑な避難所運営、被災者支援が行えるよう、適切な資機材管理や訓練を実施する。						
【R1年度】 ・災害時に円滑な避難所運営、被災者支援が行えるよう、適切な資機材管理や訓練を実施する。						
【R2年度】 ・今後も感染症が発生することがあることから、感染症の蔓延期においても適切な被災者支援を行えるよう、令和3年度の総合防災訓練にあつては、密を作らない工夫や、消毒等を徹底することで安心安全な訓練に繋げる。						
【R3年度】 ・今後も感染症が発生することがあることから、感染症の蔓延期においても適切な被災者支援を行えるよう、訓練等を実施する際には、密を作らない工夫や、消毒等を徹底することで安心安全な訓練に繋げる。						